

データ駆動型社会の 光と影

© 慶應義塾体育會蹴球部



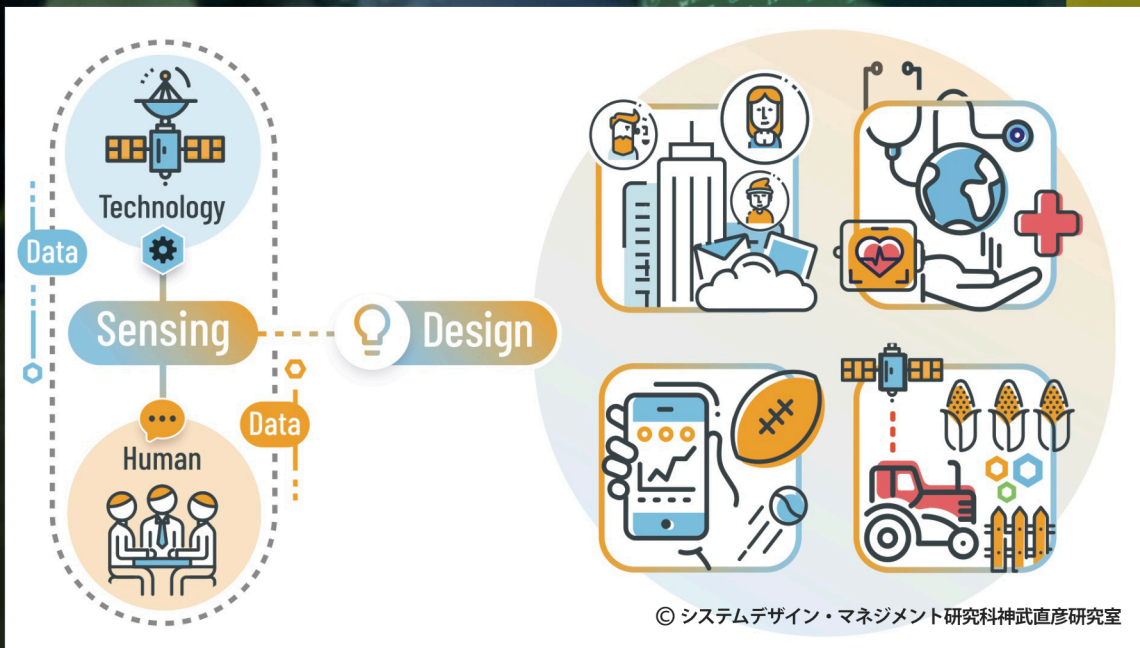
神武 直彦

慶應義塾大学大学院
システムデザイン・マネジメント研究科 教授

慶應義塾大学大学院理工学研究科計算機科学専攻修了後、宇宙開発事業団入社。ロケットの研究開発と打上げ、人工衛星と国際宇宙ステーション搭載ソフトウェア独立検証に従事。欧州宇宙機関研究員、宇宙航空研究開発機構主任開発員を経て、2009年度より慶應義塾大学准教授、2018年度より同教授。

現在、Multi-GNSS (Global Navigation Satellite System) Asia Steering Committee Member、ロケーションビジネスジャパン実行委員長。データポータビリティ、情報銀行、スポーツデータなどデータ利活用に関する各種委員。アジア工科大学院招聘教授。

政府や企業のみならず、個人や小規模組織からも価値のあるデータを提供することが可能になり、多様なデータを循環させて価値を創出するデータ循環型社会に世界は変化しつつあります。データは価値を生み出す手段であり、様々な利害関係者と共にその仕組みを実現することが重要です。データ駆動型社会の光と影について議論したいと思います。



6月5日

18:15~19:45 (水)

講師：神武 直彦

慶應義塾大学大学院

システムデザイン・マネジメント研究科 教授

場所：日吉キャンパス 来往舎1F

シンポジウムスペース

対象：塾生・教職員 (無料 予約不要)

問い合わせ：toiawase-lib@adst.keio.ac.jp

